ボーリング柱状図

調査名 乙金浄水場造成用地地質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	H27-4		調査位置	福岡県大野城市乙金台3丁目地内(乙金浄水場)			北緯	33° 32' 30.67"									
発注機関	福岡市水道局浄水部浄水施設課			調査期間	平成28年1月5日～28年1月9日			東経	130° 29' 37.85"								
調査業者名	日本地研株式会社 電話(092-475-5487)		主任技師	田中 聡		現代場代理人	問註所 義幸	コ鑑ア者	問註所 義幸	ボーリング責任者	後藤 達也						
孔口標高	+34.34m		角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南		地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°		使用機種	試錐機 ワイビーエム YBM-05 エンジン ヤンマー NFAD-8		ハンマー落下用具	半自動型	
総掘進長	10.00m		度	0°		向			ポンプ	ワイビーエム GP-5							

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色相対密度	相対稠度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験		試料採取		室内試験 (掘進月日)					
									深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値	深 (m)	試験名および結果	深 (m)	試料採取番号						
33.69	0.65	0.65	埋土				表層30cmは玉砂利や碎石で以深はシルト質砂状	1/8 3.90	1.15	2	2	3	7/30	7								
			強風化花崗岩	淡褐～淡赤褐～淡緑褐			主に柱状のコアで採取される 岩組織を有するが軟化が進んでいる コアは指圧～強指圧で破碎可能な硬さ 破碎した試料はシルト質砂状となる 石英はほとんど粘土化している GL-5.7m付近は部分的に土砂化が進んでいる	1/8 4.96	1.45	2	2	3	7/30	7								
								2.15	2	2	3	7/30	7									
								2.45	3	3	4	10/30	10									
								3.15	3	3	4	10/30	10									
								3.45	5	7	9	21/30	21									
								4.15	5	7	9	21/30	21									
								4.45	8	7	7	22/30	22									
								5.15	8	7	7	22/30	22									
								5.45	5	6	9	20/30	20									
								6.15	5	6	9	20/30	20									
27.34	6.35	7.00	風化花崗岩	淡赤褐～褐灰			短柱状～柱状のコアで採取される 強指圧～ハンマー軽打で破碎する程度の硬さ 部分的に弱風化部を礫状に残しており、破碎した試料はシルト混じり砂～礫混じり砂状となる	1/8 4.96	6.45	18	32	50/20	75									
								7.15	18	32	50/20	75										
								7.35	45	5/1	50/11	136										
								8.15	45	5/1	50/11	136										
			8.26	50/8		50/8	188															
			9.15	50/8		50/8	188															
			9.23	50		50/10	150															
24.34	3.00	10.00						10.15	50		50/10	150										
								10.25														

- ・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があり、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
- ・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。